

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】大衡村](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )
		公表回	公表年月日				
46	2011.03.31			宮城県	大衡村	5,487	60.19
構想の要約		大衡村は、「みんなが主役だっちゃ 万葉の里 おおひら」をキャッチフレーズに第5次大衡村総合計画の基本理念である「共に育み 共に創り 共に生きる 愛と活力にあふれたまちづくり」の実現のため、住民や村内企業を含め、全員参加のバイオマス利活用を推進する。					
構想に盛り込まれた事業		①廃食用油の燃料化事業 ②家畜排せつ物、家庭系・事業系生ごみ、刈草等の堆肥化事業 ③製材所等残材、林地残材のチップ燃料化事業 ④資源作物の利活用事業					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物(多収穫米)	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材			
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他(ゴルフ場芝刈草他)			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など					
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(製紙用チップ、敷料)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2011.03.31	2011.03.31バイオマスタウン構想公表(JORA協力。BTアドバイザー研修地)

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

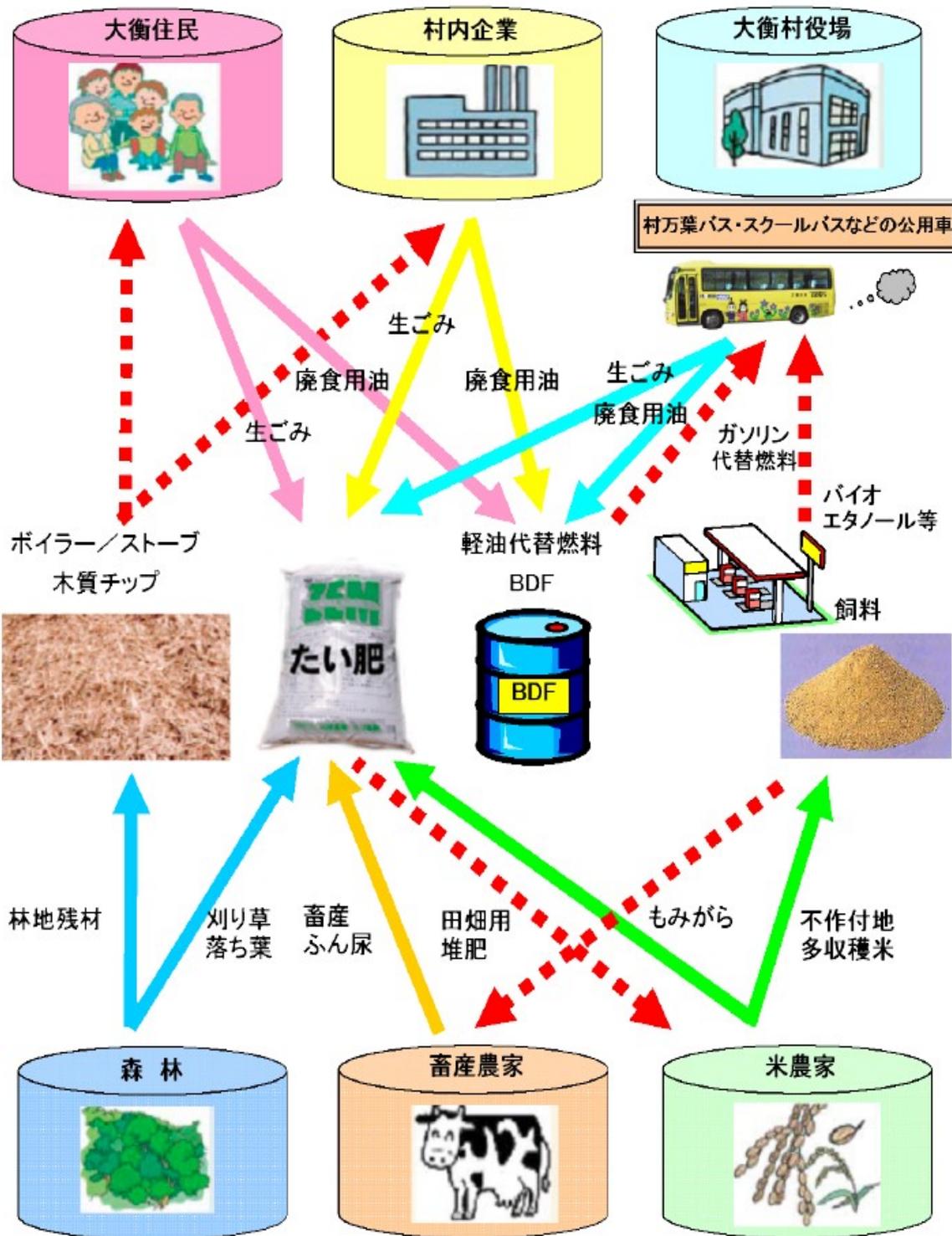
**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマスの種類		賦存量		変換・ 処理方法	目標仕向量		利用・販売	炭素換算 利用率 (%)
		賦存量 (t/年)	炭素換算量 (t-c/年)		仕向量 (t/年)	炭素換算量 (t-c/年)		
廃棄物系バイオマス		16,055.3	1,261.3		15,700.2	1,217.1		96.5%
家畜排せつ物	乳用牛	6,898	339	堆肥化	6,898	339	自家使用 個人取引	100%
	肉用牛	2,920	225	堆肥化	2,920	225	自家使用 個人取引	100%
	豚	5,292	520	堆肥化	5,292	520	自家使用 個人取引	100%
一般廃棄物系	家庭系生ごみ	435	38.5	堆肥化	130	11.5	販売、配布	30%
	家庭系廃食用油	7	5.4	BDF化	2	1.6	公用車利用	30%
	事業系廃食用油	5	3.9	BDF化	1.5	1.2	公用車利用	31%
	給食系廃食用油	1.1	0.8	BDF化	1.1	0.8	公用車利用	100%
木質廃棄物系	製材工場等残材	414	107	製紙用チップ	414	107	販売	100%
	刈り草(剪定枝含む)	83.2	21.5	堆肥化	41.6	10.8	販売、配布	50%
未利用バイオマス		6,850	1,929		2,054.5	578.5		30%
農作物非食用部	稲わら	4,512	1,291.8	敷料利用 堆肥化	1,354	387.7	個人取引 販売、配布	30%
	もみがら	1,128	322.9	堆肥化	338	96.8	販売、配布	30%
	大豆がら	35	10	堆肥化	10.5	3	販売、配布	30%
林地残材		1,175	304.3	チップ燃料化	352	91	販売	30%
資源作物 (多収穫米)				エネルギー・ マテリアル利用	896	257	販売	

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

【大衡村バイオマスタウン構想図】



### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)